

戦国島津

は本当に「強い」のか 政・軍両面から見るその実像

駐車場あり
入場無料
事前申込不要
(先着順・自由席)

「強い戦国大名」の代表格として
その名が轟く戦国島津氏
果たしてイメージ通りに強いのか？
最新研究より、その真の実かに迫る！

- 第1部 「戦国島津家の軍事動員と合戦」(新名 一仁)
- 第2部 「軍事から見る、島津“軍”の本当の強さ」(樋口 隆晴)
- 第3部 トークセッション
「“強い”戦国大名とは何か」(新名 一仁・樋口 隆晴)

令和6年
10月5日 (土) 14:00~16:30
(開場 13:30)

始良公民館 大ホール
(始良市西餅田 589)

■ JR 帖佐駅から徒歩10分 ■ 桜島スマートICより車で5分

登壇者

新名一仁

(中世島津氏研究者)
南九州大学 非常勤講師

樋口隆晴

(歴史・軍事ライター)



2023
イラスト: 添田一平

戦国島津は本当に「強い」のか ～政・軍両面から見るその実像～

「戦国島津のイメージは？」と問われれば多くの方が「強さ」を挙げるのではないのでしょうか。実際、テレビ番組などで「最強の戦国大名は？」という話題になると、しばしば島津氏の名前が挙げられます。また、昨今はメディア作品やSNS等の影響等もあり、「戦国島津は強い」というイメージは歴史ファンのみならず、漫画やゲームに親しむ層にも定着しています。

戦国大名は数多あれど、これほど極端なまでに「強さ」によってその存在が語られる大名は、島津氏ぐらいと言っても過言ではないでしょう。しかし一方で「どう強いのか」という説明は、確かな史料や分析に基づかないものが多く、イメージばかり独り歩きしている面も否めません。

その実力は本物なのか。本当に「強い」ならばその源は何か。あるいは「弱み」はどこにあったのか。政（まつりごと）、そして軍事の両面から考察することで、戦国島津氏の「強さ」、その実像に迫ります。

第1部 戦国島津家の軍事動員と合戦

講師：新名 一仁（にいな かずひと）／中世島津氏研究者・南九州大学 非常勤講師



宮崎市在住。広島大学大学院文学研究科博士課程国史学専攻、博士（文学、東北大学）。南日本新聞社 第44回南日本出版文化賞受賞。著書・編著に『島津貴久』（戎光祥出版）、『島津四兄弟の九州統一戦』（星海社）、『中世島津氏研究の最前線』（洋泉社）、『現代語訳上井覚兼日記』（ヒムカ出版）、『「不屈の両殿」島津義久・義弘』（角川新書）、『戦国武将列伝 11 九州編』（戎光祥出版）、『図説 中世島津氏』（戎光祥出版）などがある。

第2部 軍事から見る、島津“軍”の本当の強さ

講師：樋口 隆晴（ひぐち たかはる）／歴史・軍事ライター



横浜市在住。陸戦専門雑誌「PANZER」編集部員を経て、フリーの編集者兼ライター。「歴史群像」（ワン・パブリッシング）などに戦史・歴史記事を多数寄稿。戦国の城や、近・現代戦といったテーマの“現場”に赴き、実証的に描き出すその記事・論考には定評がある。著書・共著に『戦闘戦史』（作品社）『戦国の堅城』『戦国の堅城II』『戦国の城全史』『日本の要塞』（学研）、『図解 武器と甲冑』（ワン・パブリッシング）などがある。

第3部 セッショントーク「“強い”戦国大名とは何か」

講師：新名 一仁・樋口 隆晴 進行：酒匂大樹（しまづくめ）